



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和7年度11月号（第8号）
令和7年10月31日 発行

【学校の教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

学校は 「勉強をするところ」「友達と仲良くするところ」「安心・安全なところ」

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

読書のすゝめ

校長 藤田 昌一

本校では、11月4日～28日を「読書月間」とし、様々な取組を行います。

- 本の貸出冊数の増（一人3冊）
- 読書の木（子どもたちのお気に入りの本を紹介）
- 親子読書の木（本の読み聞かせ等、親子で読書に取り組んでいただく機会）
- 先生方おすすめの本（教職員のお奨めの本を紹介）
- 図書委員会の活動（おすすめの本のポップ作成など）
- コラボ給食（本にちなんだ給食メニュー、ヨムヨムサポーターさんとの会食）…

私も、校長講話の時間を利用して、読み聞かせを行う予定です。

＊

さて、令和6年度、足のケガで外出が少なかったこともあり、私は110冊を超える読書ができました。（業務上必要な文献や、引用・参照のために開いた本を除く）

- 今野敏（12冊）… 『隠蔽捜査』『内閣匿名班』『ST』シリーズなど
- 中山祐次郎（8冊）… 『泣くな研修医』『俺たちは神じゃない』シリーズなど
- 東川篤哉（5冊）… 『谷根千ミステリ散歩』『新 謎解きはディナーの後に』など
- 七尾与史（4冊）… 『ティファニーで昼食を』『偶然屋』など
- その他、東野圭吾、道尾秀介、柿谷美雨、菅田哲也、立川志らく、藤ノ木優、群ようこ、林真理子、原田マハ、内館牧子、宮島未奈、武田綾乃…

最近、疲れ目がひどく、プライベートで読む本は、簡単に読める小説やエッセイが中心になっています。では、これらの本の内容を覚えているか？他の人に紹介できるか？と問われると、心もとないものがあります。内容を忘れてしまうのであれば、最初から本を読む必要などないのではないかと考えてしまいます。

＊

筑波大学の落合陽一准教授は、著書『忘れる読書』の中で、次のように述べています。

本の内容は覚えるな、むしろ忘れよう

また、多読についても、次のように述べています。

人生のある時期には「ひたすらたくさん読む」という多読期を経ることも、大切だと思います。

本の内容を覚えていない、知識として残らないなどと気にする必要はないようです。「読書月間」をきっかけに、たくさんの本に触れることができるよう願っています。